



▲市の担当者から説明を聞く来場者

10月2日、小峰城跡石垣修復現場で、新たに見つかった古い石垣が一般公開されました。この石垣は、竹之丸南面石垣の背面盛土の内部から発見されたもので、現在修復を行っている石垣より古いものです。石垣周辺からは、年代を特定できる遺物は見つかっていないものの、石材の加工状況や積み方、地層の重なり方などから、江戸時代初期、白河藩成立以前の会津支城時代に構築されたものと考えられます。

今回の発見は、小峰城跡の変遷を知る、重要な手掛かりとなりました。

石垣修復現場一般公開 会津支城時代に構築された石垣発見



1. 文化創造都市宣言を発表する(左から)永山さん、橋本くん、鈴木さん、森本さん 2. 大ホールで披露されたどん帳 3. 式辞を述べる鈴木市長 4. 式典で万歳三唱する出席者たち 5. 演奏する大谷さん

10月23日、市制施行10周年・白河文化交流館コミネス開館記念式典が行われました。

小ホールで執り行われた記念式典では、鈴木市長の式辞に続き、大ホールのどん帳制作に携われた、本市出身の今井珠泉画伯ほか、コミネス開館に貢献された方々に感謝状が贈られました。また、市制施行10周年を記念して小・中学生から募集した「未来のしらかわ作文コンクール」の表彰が行われ、最優秀賞を受賞した栃本龍生くん(白五小5年)、佐久間絢千さん(東中2年)が作文

市制施行10周年・白河文化交流館コミネス開館記念式典 文化創造都市宣言を発表し、開館を祝う

の発表を、優秀賞を受賞した4人が「文化創造都市宣言」を行い、市制10周年と新たな文化芸術の発信拠点となるコミネスの開館を祝いました。

式典後、大ホールで、コミネス開館記念公演「大谷康子と弦楽アンサンブル」が大谷康子とめんこい仲間たちが行われました。大谷さんたちは、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハト・ムジークより第1楽章」などを披露し、優れた音響性能を持つホールに響き渡る音色に、満員の聴衆から、盛大な拍手が送られていました。



1. オープニングアクトの様子 2. BRAHMANのステージ 3. ダルライザーのステージ 4. 白河ラーメンを販売するあばれる君 5. ダンスを披露した県南9市町村のご当地キャラ



▲一斉にスタートする女子選手

9月18日・19日の2日間、しらかわの森スポーツ公園で、「風とロック芋煮会2016 KAZETOROCK I-MONY WORLD」が行われ、人気アーティストによるライブや野球が繰り広げられました。

18日には、サンボマスターのライブから始まり、本市出身の吉田董さんがボーカル・ギターを務めるSilent SirenやTHE BACK HORNS、今回初出場となる谷村新司さんが、19日には、あばれる君やダルライザー、音速ライン、BRAHMANなどがステージ

を盛り上げました。

また、18日には、昨年に続き立川談春師匠が高座に上がり、古典落語「らくだ」を披露しました。

会場に設けられた「白河ろっくろーる横丁 風と縁日」では、アーティストが輪投げなどのゲームや飲食物の屋台で来場したファンと触れ合い、人気を博しました。

ライブ後には、出演者による野球が行われ、18日には特別ルールのホームラン競争が、19日には通常の試合が行われ、アーティストたちの熱いプレーに歓声が上がりました。

風とロック芋煮会2016 KAZETOROCK I-MONY WORLD 人気アーティストによるライブや野球が繰り広げられる

9月25日、しらかわカタルスポーツパーク陸上競技場(北中川原)をスタート・ゴールに、「第21回しらかわ駅伝競走大会」が行われました。県内外から出場した168チーム、1,531人のランナーが健脚を競い合い、高校の部男子は学法石川高A、女子は仙台育英学園高A、また、一般の部男子は神町自衛隊、女子は県南クラブが優勝しました。

そのほか、まちなかにぎわいイベントや、本市出身の藤田敦史さんをはじめとしたゲストによるスペシャルトークショーが行われました。

第21回しらかわ駅伝競走大会 ランナーが健脚を競う